

14時30分解禁

平成29年1月 全国百貨店売上高概況

平成29年2月21日

I. 概況

1. 売上高総額	5, 209億円余
2. 前年同月比	-1.2% (店舗数調整後/11か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 234店 (平成28年12月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,891,713㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	73,814人 (前年同月比:-3.9%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	6-8月 -2.9%、7-9月 -3.4%、8-10月 -4.9%、 9-11月 -3.7%、10-12月 -2.5%、11-1月 -1.8%

[参考] 平成28年1月の売上高増減率は-1.9% (店舗数調整後)

【特徴】

1月の売上高は、前年同月比1.2%減で11か月連続のマイナス。

顧客別ではインバウンド (シェア4.2%) が、春節の月ズレなどによる購買客数増加 (31.0%増) を受け、単月で過去最高売上となる約217億円で前年同月比24.8%増を記録した一方で、国内市場 (シェア95.8%) は2.1%減で6か月連続のマイナスに終わっている。

地区別では札幌 (4.0%増)、大阪 (2.1%増)、福岡 (1.7%増) の3地区がインバウンド効果もあり前年を上回ったが、降雪による影響を受けた名古屋や広島をはじめ、15地区が前年に届かず、10都市計が0.7%減、10都市以外計は2.3%減に終わった。また、規模別では大規模店がほぼ前年並みに推移したものの、小規模店の回復に遅れが見られた。

商品別では、主要5品目 (衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品) のうち、化粧品の増勢や美術・宝飾・貴金属の回復などを要因に雑貨が3.5%増で2か月連続のプラス。天候不順などから生鮮が苦戦した食料品は、菓子 (0.3%増) の下支えもあり1.0%減に留まったが、好調に立ち上がった衣料品は月半ばから失速し2.7%減で15か月連続で前年を下回った。

初商や福袋は各社とも前年並みに推移。月末のバレンタイン商戦は、限定品を中心に好調なスタートを切っている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「1月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇上旬と下旬後半は寒気の南下が弱く、気温が顕著に高くなった日があった一方、中旬から下旬前半にかけては日本付近に寒気が南下し冬型の気圧配置が強まり、日本海側では中旬は東北地方から山陰にかけて、下旬前半は西日本を中心に大雪となり、広島で15日に19cmの積雪となるなど、太平洋側でも大雪となったところがあった。

(2) 営業日数増減 30.1日 (前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日 (〃 -1日/土曜1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数134店舗)

①増加した: 32店、②変化なし: 36店、③減少した: 66店

(5) 1月歳時記 (初売り、クリアランス) の売上 (同上/有効回答数100店舗)

①増加した: 15店、②変化なし: 59店、③減少した: 26店

全国百貨店 売上高速報 2017年01月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 () が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	520,912,044	100.0	-1.2 (-1.9)
10都市	354,848,132	68.1	-0.7
札幌	14,351,258	2.8	4.0
仙台	7,569,320	1.5	-3.4
東京	137,170,908	26.3	-1.5
横浜	30,608,537	5.9	-1.5
名古屋	33,509,328	6.4	-1.9
京都	21,439,452	4.1	-2.0
大阪	67,354,234	12.9	2.1
神戸	13,506,994	2.6	-3.2
広島	11,010,304	2.1	-4.6
福岡	18,327,797	3.5	1.7
10都市以外の地区	166,063,912	31.9	-2.3 (-4.3)
北海道	1,634,782	0.3	-2.8 (-37.4)
東北	8,004,830	1.5	-6.8 (-7.4)
関東	75,988,198	14.6	-1.8 (-5.1)
中部	12,301,820	2.4	-5.2
近畿	22,997,166	4.4	-0.2
中国	11,633,263	2.2	-3.8
四国	8,720,405	1.7	-6.3
九州	24,783,448	4.8	-0.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	520,912,044	100.0	-1.2 (-1.9)
紳士服・洋品	42,713,129	8.2	-0.1 (-0.7)
婦人服・洋品	124,845,033	24.0	-3.3 (-4.0)
子供服・洋品	13,307,743	2.6	-2.9 (-3.6)
その他衣料品	12,082,584	2.3	-4.9 (-6.2)
衣 料 品	192,948,489	37.0	-2.7 (-3.4)
身のまわり品	74,417,886	14.3	-1.6 (-2.2)
化粧品	37,307,232	7.2	10.8 (10.4)
美術・宝飾・貴金属	25,555,366	4.9	-0.4 (-0.7)
その他雑貨	19,865,684	3.8	-3.7 (-4.8)
雑 貨	82,728,282	15.9	3.5 (2.9)
家 具	5,043,827	1.0	-4.3 (-4.9)
家 電	1,025,008	0.2	-24.6 (-24.6)
その他家庭用品	16,341,556	3.1	-3.4 (-4.1)
家 庭 用 品	22,410,391	4.3	-4.8 (-5.5)
生 鮮 食 品	23,173,436	4.4	-1.6 (-2.4)
菓 子	34,604,985	6.6	0.3 (-0.4)
惣 菜	27,247,564	5.2	-1.4 (-1.8)
その他食料品	35,784,431	6.9	-1.6 (-2.4)
食 料 品	120,810,416	23.2	-1.0 (-1.7)
食 堂 喫 茶	13,438,829	2.6	-2.9 (-3.9)
サ ー ビ ス	4,645,855	0.9	0.6 (-0.9)
そ の 他	9,511,896	1.8	0.4 (0.3)
商 品 券	8,370,223	1.6	-6.3 (-6.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.7% (11か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.3% (店舗数調整後/15か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.7	-0.5	11か月連続マイナス
札幌	4.0	0.1	4か月ぶりプラス
仙台	-3.4	-0.1	11か月連続マイナス
東京	-1.5	-0.4	6か月連続マイナス
横浜	-1.5	-0.1	13か月連続マイナス
名古屋	-1.9	-0.1	13か月連続マイナス
京都	-2.0	-0.1	10か月連続マイナス
大阪	2.1	0.3	13か月ぶりプラス
神戸	-3.2	-0.1	6か月連続マイナス
広島	-4.6	-0.1	4か月連続マイナス
福岡	1.7	0.1	6か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-2.3	-0.7	15か月連続マイナス
北海道	-2.8	0.0	4か月連続マイナス*
東北	-6.8	-0.1	15か月連続マイナス*
関東	-1.8	-0.3	20か月連続マイナス
中部	-5.2	-0.1	11か月連続マイナス
近畿	-0.2	0.0	6か月連続マイナス
中国	-3.8	-0.1	6か月連続マイナス*
四国	-6.3	-0.1	11か月連続マイナス
九州	-0.2	0.0	6か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品が15か月連続、身のまわり品が6か月連続、家庭用品が13か月連続、食料品が11か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が22か月連続、菓子が6か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.2	-	11か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.1	0.0	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.3	-0.8	15か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.9	-0.1	9か月連続マイナス
その他衣料品	-4.9	-0.1	15か月連続マイナス
衣料品	-2.7	-1.0	15か月連続マイナス
身のまわり品	-1.6	-0.2	6か月連続マイナス
化粧品	10.8	0.7	22か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.4	0.0	11か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.7	-0.1	6か月連続マイナス*
雑貨	3.5	0.5	2か月連続プラス
家具	-4.3	0.0	11か月連続マイナス
家電	-24.6	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-3.4	-0.1	10か月連続マイナス
家庭用品	-4.8	-0.2	13か月連続マイナス
生鮮食品	-1.6	-0.1	34か月連続マイナス*
菓子	0.3	0.0	6か月ぶりプラス*
惣菜	-1.4	-0.1	6か月連続マイナス*
その他食料品	-1.6	-0.1	4か月連続マイナス*
食料品	-1.0	-0.2	11か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.9	-0.1	15か月連続マイナス
サービス	0.6	0.0	2か月連続プラス
その他	0.4	0.0	4か月連続プラス
商品券	-6.3	-0.1	71か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成29年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成29年2月21日

I. 概 況

1. 売上高総額	1, 371億円余
2. 前年同月比	-1.5% (6か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.6%(92.2%) : 非店頭-10.5%(7.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	873,232㎡ (前年同月比: 1.8%)
6. 総従業員数	18,644人 (前年同月比: -1.0%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 -2.6%、7-9月 -2.6%、8-10月 -4.5%、 9-11月 -3.0%、10-12月 -2.1%、11-1月 -1.3%

[参考] 平成28年1月の売上高増減率は0.2%

【特 徴】

- (1) 1月の入店客数は0.2%増、2か月連続で前年を上回ったものの、売上高は1.5%減で6か月連続のマイナス。一部店舗の店休日増や、人気催事の会期ズレがありながらも前年を上回った入店客数のニーズを捉えきることが出来なかった。
- (2) 商品別では主要5品目のうち、好調を持続する化粧品や美術・宝飾・貴金属の堅調などから雑貨が4.0%増で2か月連続のプラスを記録したが、衣料品(-2.5%)、身のまわり品(-4.1%)、家庭用品(-10.8%)、食料品(-1.3%)が前年の確保には至らなかった。
- (3) 1月が売上シェアで最大となる衣料品は、紳士服(+1.5%)が、プロパー・セール問わずスーツやジャケットなどビジネス関連を中心に動きが見られ、6か月ぶりにプラスに転じた一方で、初商やクリアランスではマフラーやストール、手袋などに人気が集まった婦人服(-3.6%)は、重衣料の動きが鈍く15か月連続のマイナスに終わり、回復の兆しが見られた昨年末から再びマイナス幅(昨年11月:-0.6% 12月:-0.3%)を拡大している。
- (4) 2月は春節の月ズレの影響も懸念されたが、バレンタイン商戦の活況をきっかけとした買い回り効果もあり、15日現在で約2%のプラス。月終盤に向けては、昨年がうるう年だったことによる営業日数1日減の影響をどこまでカバーできるかがポイントとなる。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比 -0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 6店、③減少した: 7店
- (3) 1月歳時記(初売り、クリアランス)の売上(同上/有効回答数11店舗)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 6店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2017年01月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	137,170,908	100.0	-1.5
紳士服・洋品	13,432,447	9.8	1.5
婦人服・洋品	29,867,461	21.8	-3.6
子供服・洋品	2,641,658	1.9	-1.5
その他衣料品	2,576,499	1.9	-9.7
衣 料 品	48,518,065	35.4	-2.5
身のまわり品	20,691,873	15.1	-4.1
化粧品	11,592,925	8.5	12.5
美術・宝飾・貴金属	7,717,366	5.6	-0.9
その他雑貨	5,820,881	4.2	-4.2
雑 貨	25,131,172	18.3	4.0
家 具	1,494,418	1.1	-5.9
家 電	599,033	0.4	-27.9
その他家庭用品	4,221,460	3.1	-9.4
家 庭 用 品	6,314,911	4.6	-10.8
生 鮮 食 品	4,224,837	3.1	-4.2
菓 子	8,134,282	5.9	-3.0
惣 菜	6,440,238	4.7	-2.9
その他食料品	9,304,629	6.8	2.8
食 料 品	28,103,986	20.5	-1.3
食 堂 喫 茶	3,126,704	2.3	0.0
サ ー ビ ス	1,842,564	1.3	5.1
そ の 他	3,441,633	2.5	5.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	1,844,363 千円	1.1
従 業 員 数	18,644 人	-1.0
店 舗 面 積	873,232 m ²	1.8

営 業 日 数	29.9 日	前 年	30.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品が15か月連続、身のまわり品が6か月連続、家庭用品が5か月連続、食料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が22か月連続のプラス、紳士服・洋品が6か月ぶり、その他食料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.5	—	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	1.5	0.1	6か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-3.6	-0.8	15か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.5	0.0	7か月連続マイナス
その他衣料品	-9.7	-0.2	2か月連続マイナス
衣料品	-2.5	-0.9	15か月連続マイナス
身のまわり品	-4.1	-0.6	6か月連続マイナス
化粧品	12.5	0.9	22か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.9	0.0	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-4.2	-0.2	6か月連続マイナス*
雑貨	4.0	0.7	2か月連続プラス
家具	-5.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	-27.9	-0.2	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-9.4	-0.3	9か月連続マイナス
家庭用品	-10.8	-0.5	5か月連続マイナス
生鮮食品	-4.2	-0.1	11か月連続マイナス*
菓子	-3.0	-0.2	2か月連続マイナス*
惣菜	-2.9	-0.1	7か月連続マイナス*
その他食料品	2.8	0.2	2か月ぶりプラス*
食料品	-1.3	-0.3	2か月連続マイナス
食堂喫茶	+0.0	0.0	13か月ぶりプラス
サービス	5.1	0.1	7か月連続プラス
その他	5.0	0.1	2か月連続プラス
商品券	1.1	0.0	23か月ぶりプラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・橘 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>